令和７年度　第３回社会貢献委員会議事録

１．招集年月日　　令和７年 10 月１日(水)
２．開催日時　　　令和７年 10 月 23 日(木) 17 時 40 分
３．開催場所　　　「和食 すがわら」秋田市大町 1-2-7
４．委員数　　　　６名
５．出席委員氏名　杉本信夫、宍戸良史、柳漢成、大久保成志、
　　　　　　　　　佐々木斉、佐々木勝也、(オブザーバー 髙橋一則)
６．議長の氏名　　杉本信夫（委員会設置規約第５条第４項）
７．委員会の成立　６名出席により成立（委員会設置規約第９条）
８．議事の経過の要領及び議案別の議決の結果

第１号議案　秋田県秋田市海岸清掃活動等結果について

杉本委員長より令和７年 10 月 23 日(木)14 時 30 分から同 15 時 30 分まで秋田市「新屋海浜公園」内で、社会貢献委員会６名、髙橋理事長、秋田県内販社㈱レジャー産業秋田 代表取締役最上幸司氏の計８名で清掃活動を行ったこと、短時間ではあったが約 10 kgのゴミを回収でき、ゴミは秋田市総合環境センターへ無事に搬入したとの報告があった。

第２号議案 秋田県秋田市海岸清掃活動に先立つ児童養護施設訪問結果について

秋田県秋田市海岸清掃活動に先立ち、秋田県内の児童養護施設「陽清学園」へ大久保委員、「県南愛児園」へ柳委員、佐々木勝也委員、「聖園天使園」へ杉本委員長、宍戸副委員長、佐々木斉委員、がそれぞれ訪問し、図書券各１万円分を持参して、施設の園長、担当者と約１時間、施設の現状、課題、寄付金の使い道などを、真摯、かつ、親切に対応して頂いた、との報告があった。

国の方針として、ホーム化が進んでおり生活用品不足、夜勤宿直の労働環境による人員不足など、児童養護に関する多様な問題点なども説明され、これら現状を改めて理解し、寄付金以外での貢献活動も含め検討していく必要がある、との意見もあった。

第３号議案　広瀬川１万人プロジェクト清掃活動について

標記のことについて、令和７年 11 月８日（土）10 時から 12 時までの予定で、場所は仙台市若林区「宮沢橋」南側（広瀬川）宮沢緑地付近を予定して行うこと、現在、熊出没の問題もあり、実際の活動状況などは流動的な部分もある、との報告があった。

第4号議案　宮城県共同募金会「ランドセルをおくろうProject」募金への協力について

毎年、赤い羽根共同募金へ募金をしているが、本年度も「ランドセルをおくろうProject」へ募金することとし、昨年同様、30,000円（むすび丸ピンバッジ60個分）を募金することとなった。

第5号議案　オレンジリボン運動への支援等について

当組合としても全商協の活動の一環への協力として継続して対応していきたいこととなり、例年通り、組合員及び事務局職員分として1社当たり1,000円から1,500円程度で対応することとし、ボールペン3本セットと今治ハンカチを64セット、計91,520円分を購入することとなった。

第6号議案　「献血活動集計状況」及び令和7年度「献血強化運動への再度の協力要請」について

献血アプリなどを利用するとやりやすいとの報告があった。現状、献血数がかなり少なくなっており、献血促進につなげる活動をして行きたいとの報告もあり、本年12月初旬に再度の協力要請の文書を発出することとなった。

第7号議案　募金箱の現残高について

今回の児童養護施設訪問で、3万円の出金があり、現残高は7万円となっている。各委員会、理事会での募金を呼びかけていくとの報告があった。

以上をもって、18時30分、委員会を終了した。